

2024
10-12月期



京都企業の
BSI値
Business survey index

インバウンドや年末需要が牽引し、
国内景気・自社業況ともに上昇

実績

予想

規模別の業況

国内景気

インバウンド消費や年末需要等により上昇するも、先行きの不透明さもあり前期予想を下回る

自社業況

需要増による売上増が利益や資金繰りの改善に寄与し、大幅に上昇

国内景気

2025年1～3月期は下降に転じ、4～6月期には上昇に転じる見込み

自社業況

2025年1～3月期は下降に転じ、4～6月期にはわずかながらも上昇に転じる見込み

規模別の業況

大企業・中小企業ともに国内景気・自社業況 BSI値は上昇
今後、大企業は上昇傾向が続く一方、中小企業は2025年4～6月期にかけて一進一退の見通し

1 概要

今期の国内景気BSI値は4.1(前期実績1.7)と上昇傾向を強めた。インバウンド消費の好調等を受け、運輸・倉庫業やサービス業を中心に上昇し、7期連続での上昇となったものの、国内外の政治や為替動向の不透明さを反映し、前期予想(7.3)を下回る結果となった。

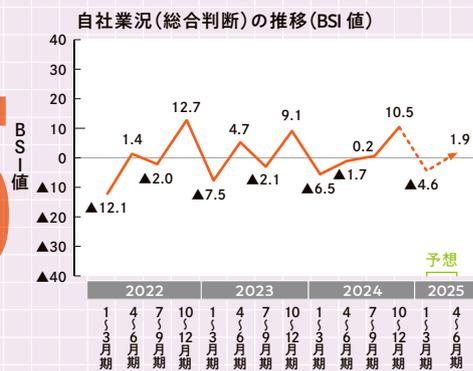
今後の予想については、2025年1～3月期は▲3.0と下降に転じ、続く4～6月期には5.7と再び上昇する見込み。



国内景気 BSI 値
(前期実績 1.7)
4.1

10.5

自社業況 BSI 値
(前期実績 0.2)



今期の自社業況BSI値は10.5(前期実績0.2)と大幅に上昇した。コロナ前を超える高い水準となったインバウンド需要や、年末需要を背景とした消費、物流の活発化に伴い、小売業や運輸・倉庫業、サービス業等で売上が増加し、利益や資金繰りの改善がみられた。

今後の予想については、2025年1～3月期は▲4.6と下降に転じ、4～6月期には1.9と、再び上昇する見通し。

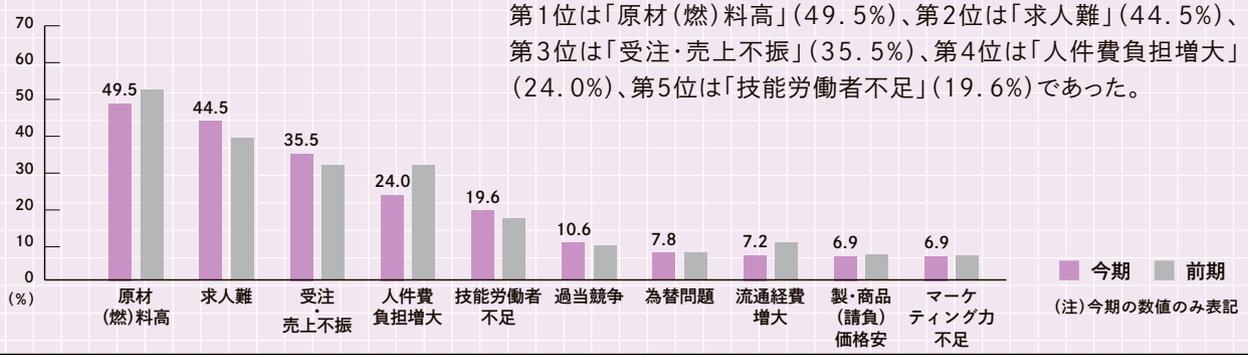
2 BSI値の総括表

(注) 10～12月期のBSI値は、7～9月期の景況感を基準に強気なら「プラス」、弱気なら「マイナス(▲)」で表している。算出方法は、上昇回答から下降回答を差し引き、2分の1を乗算。

		実績		予想	
		2024年7～9月期	2024年10～12月期	2025年1～3月期	2025年4～6月期
京都企業の経営動向	国内景気動向	1.7	4.1	▲3.0	5.7
	自社業況(総合判断)	0.2	10.5	▲4.6	1.9
	1. 生産・売上高、工事施工高	▲0.6	12.7	▲6.0	2.4
	2. 製・商品・サービス・請負価格	9.7	12.6	5.5	10.3
	3. 経常利益	▲4.4	8.0	▲7.9	▲1.1
	4. 所定外労働時間	▲2.9	11.2	▲4.5	▲0.5
	5. 製・商品在庫	6.1	5.6	3.7	3.1
6. 資金繰り	▲3.2	2.0	▲2.2	0.3	

(注) BSI値=(上昇[増加、他]-下降[減少、他])×1/2

3 当面の経営上の問題点



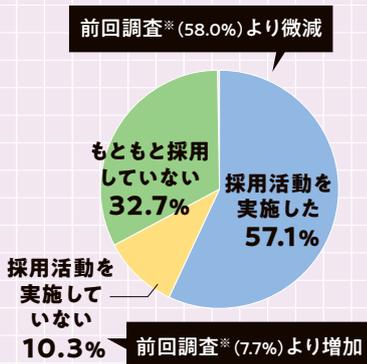
4 附帯調査 —ピックアップポイント—

※前回調査:2023年10~12月期調査

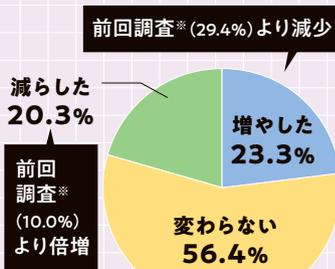
新卒採用活動について

採用活動を実施した企業は57.1%と微減
来年度採用を今年より減らした企業は20.3%と倍増

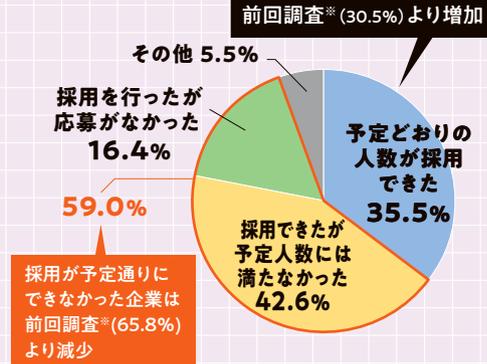
1 新卒採用(2025年4月入社)の採用活動状況(単一回答)



2 今年度(2024年度)と比較した来年度(2025年度)の新卒採用の予定人数(第1問で「実施した」と回答した企業が回答)



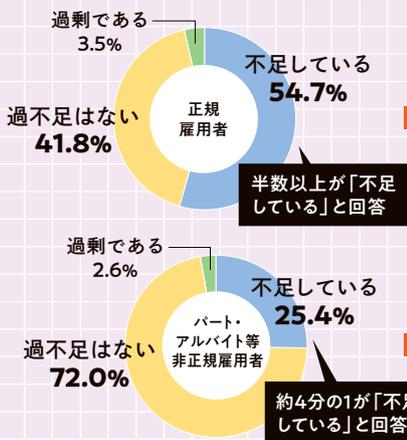
3 新卒採用の充足状況(第1問で「実施した」と回答した企業が回答)



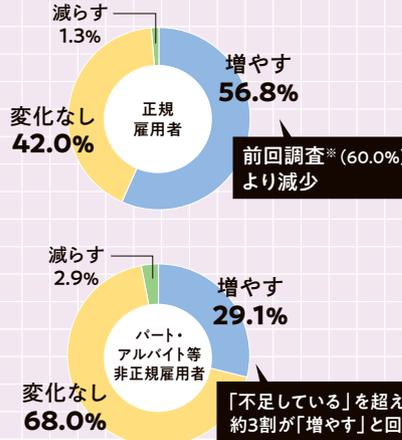
雇用・人材確保について

大企業での正規雇用者が大幅に不足
マッチングの機会や質、人材育成の強化が課題

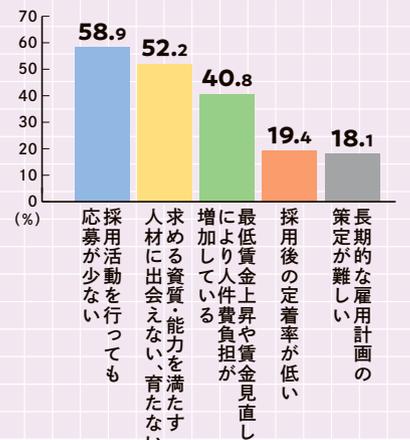
1 現行の雇用形態ごとの充足感(2024年11月時点)



2 今後の雇用・採用計画の方向性



3 雇用・人材確保における課題(上位5つ)(複数回答)



京都企業のBSI値:11月下旬から12月上旬にかけて同調査を実施し、502社中321社から回答を得た(対象は、京都府内に本社、本店などを持つ企業)。

【お問い合わせ】 中小企業支援部 ☎075-341-9780 調査結果概要は本所ホームページからダウンロードできます。 [京都商工会議所 BSI値 検索]